

高橋副町長が退任されました

令和2年9月から4年にわたり副町長として務めた高橋兼次氏が9月15日をもって退任されました。町政の発展に格別なるご尽力を賜りました。



中嶋秀雄氏が副町長に就任しました



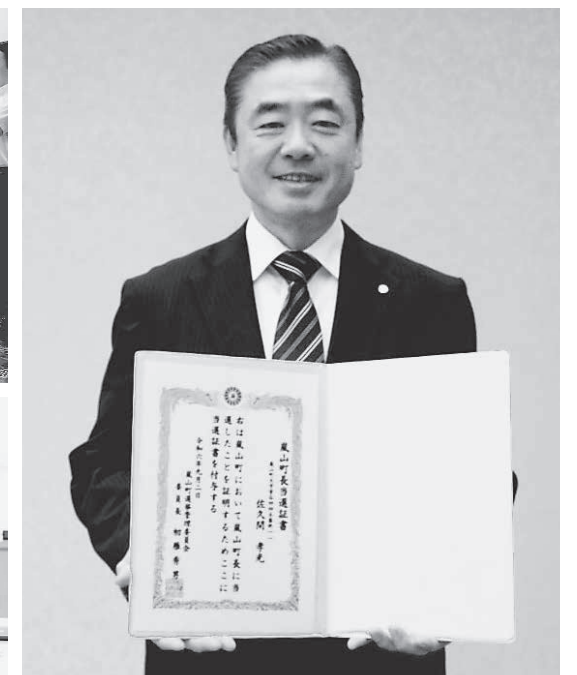
このたび9月16日付で副町長を拝命いたしました。
副町長の職責の重さを深く認識し、身の引き締まる思いであります。もとより微力ではございますが、「嵐山町に住んでよかった、これからも住み続けたい」と感じられるまちづくりのために誠心誠意努力してまいります。

《経歴》

昭和55年4月～平成29年3月 嵐山町役場勤務
(総務課長、地域支援課長、町民課長などを歴任)
平成29年4月～平成31年3月 嵐山町観光協会 事務局長

町長就任の あいさつ

佐久間町政
二期目スタート



このたび、町民の皆様からの力強いご支援を賜り、引き続き町政を担わせていただくことになりました。1期目の経験を踏まえ、さらに町民の方々が意欲をもって日々生活していただけるよう、各施策に向け、全力で取り組んでまいります。

まず、第一に、令和11年度新校開校についてであります。子どもたちが安心して学校生活を楽しめるような教育環境の実現に向け、一つひとつのプロセスを大切に、一人でも多くの子どもたちや町民の方々にご理解がいただけるよう、また、10年後、20年後に心から喜んでいただけるよう、着実に進めてまいります。

第二に、子育て環境の更なる充実についてであります。町の活性化に欠くことのできない事業であり、児童館の設置をはじめとした居場所づくり、公園の整備等を実施してまいります。

第三に、ウォーキングを中心とした健康寿命の延伸であります。「人生百年」が当たり前になりつつある昨今、健康で、かつ主体的に自分自身の人生を歩んでいかれる方が増えることは、幸福度を高めることに繋がるものと考えます。身体的にも、精神的にも、社会的にも持続的に良好な状態であるウェルビーイングを目指してまいります。

第四に、スマート農業をはじめとした農業振興であります。嵐山町が嵐山町らしく発展していく上で、農業は、重要な位置づけになります。スマート農業の推進、若手農業者の育成は、嵐山町のアイデンティティを守ることと捉え、意欲的に取り組む方々を積極的に支援してまいります。

第五に、川島地区産業団地建設の推進であります。定住促進、雇用確保、自主財源確保の観点から、中長期的に大変有効な事業であると考えております。

第六に、交通弱者対策の推進であります。高齢社会においては、交通弱者対策は必須であり、買い物や通院の「足」のさらなる確保を行ってまいります。

今後も、「人が宝の町づくり」をモットーに、町民福祉の向上に努めてまいりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。